

中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 第6回勉強会（概要）

- 国内肥料資源の利用拡大に向け、中国四国地域の関係者で構成する中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの取組の一環として勉強会を開催しました。令和7年度2回目の開催となる本勉強会では、研究機関から下水汚泥資源の活用の取組と肥効見える化アプリの開発、管内企業の汚泥資源を活用した取組事例等を紹介しました。

勉強会の概要

- 開催日：令和8年2月3日(火)
13:30~14:45
- 方法：オンライン
- 参加者：会員84名



○プログラム

下水汚泥資源の活用の取組と肥効見える化アプリについて

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
西日本農業研究センター 中山間営農研究領域
農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域

汚泥肥料の肥効を確認するため、小豆、小麦を対象として実施した栽培試験及び汚泥肥料の肥効を施用前に推定して化学肥料減の参考にできる見える化アプリの紹介。

下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた取組

四国地方整備局 河川部 地域河川課

国内肥料資源利用拡大対策事業の公募について

中国四国農政局 生産部 環境・技術課

下水汚泥の重金属・肥料成分の成分分析調査結果の説明、岡山県勝央町の下水汚泥資源の肥料利用の取組等について紹介。

国内肥料資源利用拡大対策事業の概要や公募期間のスケジュールについて説明

大地から大地へのリサイクルループ「汚泥と食品残渣の再生」

株式会社アルファ有機

汚泥とスーパーから搬出される食品残渣の肥料化の取組を紹介。食品残渣を混ぜると発酵温度が下がり、発酵速度も下がってしまうため、冬季は米ぬかを加えて水分率を下げることで微生物を活性化させ発酵速度を維持するなど苦労があった。廃棄物から生まれ変わった肥料が大地へ還り、大地から果実や野菜が取れ、次の世代へ資源として残していくという再生と循環に今後も取り組んでいきたいとの思いが語られた。